



GitHubでプロジェクトを共有してみよう (1)

東区フロントエンド勉強会 2016年 第1回



今日やること

1. 事前準備の確認
2. 今日使う用語のかんたんな説明
3. リポジトリを作ってみよう
4. リポジトリに招待してみよう (Collaborator)
5. リポジトリを Fork してみよう
6. Pull Request してみよう



GitHubでプロジェクトを共有してみよう (1)

1. 事前準備の確認

今日はこちらを利用します



git を共有するサービス

<https://github.com/>



git を管理するアプリケーション

<https://www.sourcetreeapp.com/>



2. 今日使う用語のかんたんな説明

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. Repository (リポジトリ) | 6. Conflict (コンフリクト) |
| 2. Clone (クローン) | 7. Collaborator (コラボレーター) |
| 3. Pull (プル) | 8. Fork (フォーク) |
| 4. Push (プッシュ) | 9. Branch (ブランチ) |
| 5. Commit (コミット) | 10. Merge (マージ) |



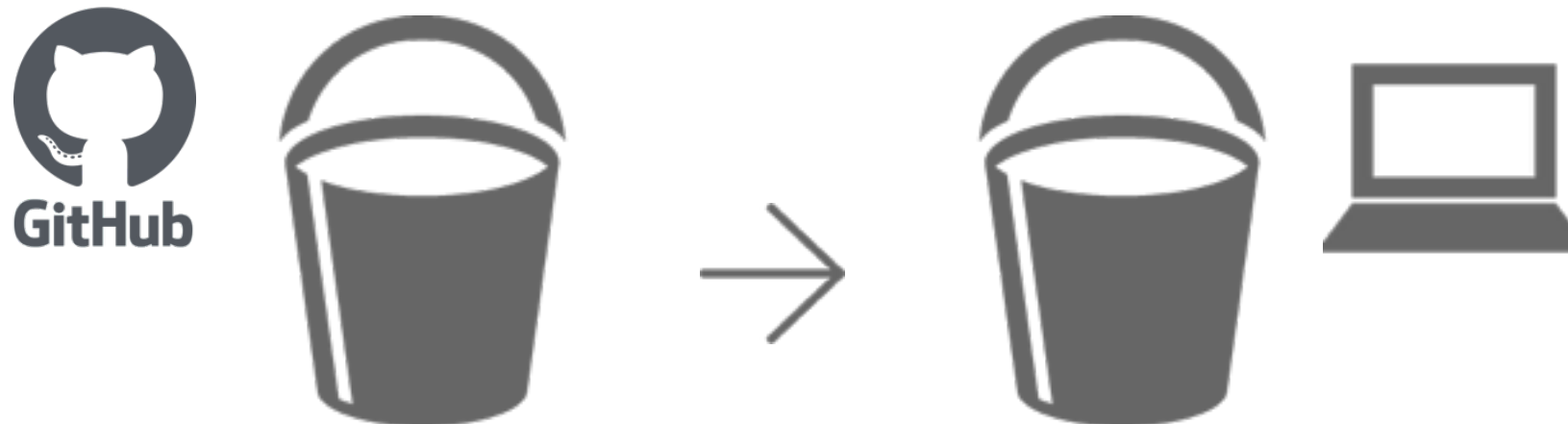
1. Repository (リポジトリ)



様々なデータを入れる箱、バケツ



2. Crone (クローン)



同じ内容の複製

今回はリモート (GitHub) のリポジトリをローカル (PC) にクローンします



3. Pull (プル)



最新の内容を取ってくる



4. Push (プッシュ)



編集した内容を送る



5. Commit (コミット)



ローカルで編集した内容を記録すること



6. Conflict (コンフリクト)



内容がどう位置ではない、競合している状態



7. Collaborator (コラボレーター)



リポジトリの編集権限を持つ仲間



8. Fork (フォーク)



GitHub上での複製

オリジナルに対して、変更した内容を Pull Request することができる



9. Branch (ブランチ)



編集履歴の派生（枝分かれ）を作る



10. Merge (マージ)



編集履歴を合流（結合）させる



3. リポジトリを作ってみよう

1. GitHub 上にリポジトリを作る
2. SourceTree に GitHub アカウントを設定
3. ローカルに Clone する
4. リモート ⇔ ローカルで Push してみよう



3. リポジトリを作ってみよう

ハンズオン



4. リポジトリに招待してみよう (Collaborator)

1. お互いのリポジトリに Collaborator として招待しあう
2. リポジトリをローカル に Clone する
3. お互いに Push してコンフリクトを解決してみよう



4. リポジトリに招待してみよう (Collaborator)

ハンズオン



5. リポジトリを Fork してみよう

1. 共有しているリポジトリを Fork する
2. Fork したリポジトリをローカル に Clone する
3. ローカルで編集して Push する
4. GitHub から Pull Request をする
5. Pull Request の内容を確認して Marge してみよう



5. リポジトリを Fork してみよう

ハンズオン



まとめ

1. 使うボタン (=コマンド) は意外に少ない
2. 作業前には必ず Pull
3. キリのいいところで、早め々の Push

ストレスのない共同作業を目指そう！



お疲れ様でした